

目 次

研究班の構成

I. 総括研究報告書

水道における連続監視の最適化および

浄水プロセスでの処理性能評価に関する研究・・・・・・・・・・5

小坂 浩司

II. 分担研究報告書

1. 表流水を水源とする浄水場における

水安全計画を用いた代表的な危害対応方法の解析・・・・・・・・・・21

大野 浩一、小坂 浩司、秋葉 道宏、

江端 克明、和田 亮太、清水くるみ

2. 地下水を水源とする中小水道事業体を対象とした水安全計画を用いた

代表的な危害、監視方法、管理基準逸脱時対応方法の解析・・・・41

大野 浩一、小坂 浩司、秋葉 道宏、

清水くるみ、和田 亮太、江端 克明

3. 水道事業体における生物・微生物の検査および監視の実態把握・・・・57

岸田 直裕、秋葉 道宏、小坂 浩司

4. 水源水質事故対応のためのGISの活用・・・・・・・・・・71

金見 拓、長 健太

5. 淀川流域での危害発生地点と

監視地点等の図示化による監視体制の検討・・・・・・・・・・79

田川 克弘、大谷 真巳

6. 連続自動水質計器の設置、活用状況に関する調査・・・・・・・・・・89

小坂 浩司、浅見 真理、下ヶ橋 雅樹、

小池 友佳子、斎藤 健太、宮林 勇一、

佐藤 三郎

7. 水道水質管理における連続自動水質計器の役割と開発状況	115
山腰 修蔵、山口 太秀	
8. 水道原水及び処理水の連続監視データの変動解析	131
浅見 真理、朝野 正平、斎藤 健太、 小池 友佳子、宮林 勇一、小坂 浩司	
9. 連続自動水質計器を用いた処理性能評価手法の開発	147
水野 忠雄	
10. 水質異常時における摂取制限を伴う給水継続 ～不可避な場合のリスク管理～	157
浅見 真理、大野 浩一	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	179